

保育案

No	4歳児:きりん組	活動日 2005年 10月 18日(火)	指導者名	
題材名		おしゃれなクロネコちゃん		
活動主題	C	A:材料や技法との出会いや行為を楽しむ。 B:見立てて遊ぶ。 C:いのちのつながりを感じてあらかず。 D:おもいを伝える		
ねらい 経験させたい材料(用具)や技法 楽しませたい活動(遊び) 育てたい(発揮させたい)力 など		黒色で描いた上にパスで彩色する。 「おしゃれしたい」というクロネコちゃんのお 願いを実現してあげようという気持ちから、想 像を広げて楽しむ。 想像したことを、材料や用具を生かして表現す る。		
準備物	準備すべき 材料・用具	・画用紙(四つ切り)白 ・墨汁 ・筆(書写用太筆) ・パス・カラーコンテセ ット(12色) ・画板・雑巾	環境設定	(1限目) ・グループ(5~6人で向き合う形) ごとに墨汁カップと雑巾を洗面器 に入れて2セット配置、筆は別途各 自に渡す。 (2限目) ・一限目と同じグループで活動
導入 支援の ポイント	幼稚園で飼っている黒猫のお話しをする。 T「クロネコのジジがね、迷子になったん だって」 C「え~!」「ちゃんといたよ!」など... T「うん、園長先生がたまたま見つけてく れたから帰ってくる事が出来たけど、 また迷子になるかも知れないんだって、 どうしよう?」 C 様々に意見や案を出し合う。 T「いつでもすぐに見つけられるようにジ ジのポスターの絵を描いておこう」 尋ね猫のポスターは、子どもたちから は出てきにくい発想なので、最後には 保育者から投げかけるようにする。 できあがったクロネコちゃんの絵を元に。 T「クロネコのジジちゃんがね、みんなみ たいにかわいい服や格好いい服を着てお しゃれがしてみたいな、だって!」 「みんなで、おしゃれにしてあげよう!」		留意点	・幼稚園に飼っている黒猫が一番 イメージしやすいが、他にも黒豚 や黒いカラスなど、黒いイメージ の動物のお話から発想するように すると良い。 ・「ジジってすぐにわかるように 描いてあげなくちゃね」と、特徴 を捉えて描く必要性に気付かせ る。その際、動きやポーズなども 特徴であることに気付かせる。 ・かわいい、格好いいというイメ ージをどう捉え、どう表現するかは 子ども次第なので、イメージを誘 導しないようにしたい。
子どもの 状態& 反省	・「似ているように描かないとわからない」と子どもの側から出てきた。 ・「ジジがどんなだったか思い出せないから描けない」という子が2人いたので、ジ ジのことを思い出せるようにお話をしてイメージが持てるように支援した。ひとは 程なく描き始めたが、もうひとは時間がかかったが最後には集中して描き始めた。 パスで着飾る活動では、黒の上でのパスの発色の美しさに驚く様子が見られた。細かな ところまで追求的に描いていた。			